

ホハレ峠と私

Step07 山田和枝

皆さん徳山ダムを知っていますか？

1957 年建設の話が持ち上がり、2007 年深い山の中に徳山ダムは完成しました。その徳山ダムの下には徳山村の多くの村が眠っています。そしてその村の一つにこの本の主人公廣瀬ゆきえさんが生きた門入と言う地域があります。1600 人余りが暮らしていた徳山村で、なぜ最後の一人として門入に暮らし続けることができたのか、著者大西暢夫さんはその 1 点を追い求め、渾身の力と飽きることのない深い人間への探求心でたどった 1 大スペクトルドラマなのです。

「ホハレ峠」とは、岐阜県揖斐郡にある徳山村門入から隣の坂内村（現揖斐川町）川上地区につながる峠である。門入の人たちはその峠を木材や食料などを背負い、険しい山道を超えた。それは町に行く大切な主要道であり、現金収入の道でもあった。

ゆきえさんも小学校 2 年の時に腹痛で苦しみ、父親に負ぶってもらい超えた峠である。また 14 歳の時には繭を 4 人で運ぶため弁当をかごに入れ運ぶ係であった。近江の高山を目指し夜中の 1 時に出発する行程がどんなにつらいものか、今の私には想像することもできない。しかしホハレ峠から鳥越峠頂上付近で始めてみた琵琶湖を海と思い、感動したと言っている。

1993 年大西さんは、ダムに沈む徳山村にはだれも住んでいないのではないかと村に入る。しかし、そこにはまだまだ住人たちの暮らしがあった。徳山村の住人たちとともに過ごす時間の中から、その魅力に取りつかれ、そんな中から廣瀬ゆきえさんと出会うのである。またそれはゆきえさんの側にも、ダムの徳山村だけではないもっと何かを伝えたい意志があり、「さて今日はどこから話そうか」と昔語りが始まるのである。



ゆきえさんと、筆者大西暢夫さんの娘徳美さん
写真提供：大西暢夫さん



そんな物語の一つは、ゆきえさんが北海道で亡くした長男陸男ちゃんへの痛みを今も持ち続けていることである。その話を続けるゆきえさんは頭を抱え込んでいた。

墓場を求め、大西さんは北海道に渡り、いろいろなつてを頼りについにレンガ造りの火葬場跡を突き止めるのである。圧巻の1場面であった。長い人生の中でゆきえさんが最もやり遂げなくてはならなかったことは、おさない陸男ちゃんに手を合わせ、向き合う時間だったのだ。

また大西さんがスーパーの買い物の手伝いでゆきえさんと出かけた時、ゆきえさんはネギがないと言っていたのに買うことをやめてしまう。それは門入にいる時にはたくさんのネギを作り、みんなに分けてあげた。それが今はスーパーで安売りのネギを買うことしかできない悔しさであると。

途方もない共に過ごした二人の中からゆきえさんの人生があぶりだされていく。日々の日常の中にある暮らしをそのまま誇りとして維持できたゆきえさんの神々しいほどの自尊心、それはどこから来たのであろうか。

そしてまた大西さんは写真家として多くの写真を掲載している。そんな写真はゆきえさんの人生の一コマコマ、またゆきえさんに繋がった人々と風景を通してゆきえさんの歴史に光を当て、私たちを誘ってくれる。写真の持つ力で想像力を駆り立ててくれるのである。

皆さんに読んでいただきたい1冊である。

廣瀬ゆきえさん 2013年8月1日（推定）94歳

本巢市文殊での自宅台所にて逝去

書名 「ホハレ峠」 彩流社

著者 大西暢夫

【お知らせ】

8月に学習会を実施します。

対象：ウィルあいち交流ネット構成
団体及び関連団体のメンバー

申込み：ウィルあいち交流ネット/
森田 (tokiko@sb.starcats.ne.jp)

参加費：1,000円

問合せ：(公財)あいち男女共同参画
財団企画協働課 (052-962-2512)

2022 ウィルあいち交流ネット学習会 I

いくさ世の私たち～ウクライナを知ろう！

お話し：川口リュドミラさん
(日本ウクライナ文化協会理事長)

8月28日（日）11：00～12：00

ウィルあいち2F 共用会議室

会 長 森田 登喜子(ウィル 2000)



創立時から参加して、会長も3
回目になります。時代の変化を感じ
て緊張しています。県下に広がる
仲間たちと楽しく「男女共同参
画推進活動」をしてきましたが、
最近交流が少なく淋しく思います。交流ネットでは
いろいろ良い機会に恵まれて大変勉強できました。
これからも仲良く切磋琢磨していきたいと思います。

副 会 長 山田 和枝 (Step07)



副会長という重責には微力者ですが、どうぞよろしくお願いいたします。
私がこんなに長く交流ネットに関われたのは、皆さんとの緩やかなつながりと、Step07 の支援のおかげです。まだまだ平等参画社会に向けてはいばらの道ですが焦らずに1歩ずつ交流の輪を広げながら前進できればと願っています。

書 記 牧 ひとみ (Reiwa '19)



書記を務めさせていただきます。
初めての参加で右も左もわからない
私ですが、皆様と一緒に有意義な1
年にしていけたらと思います。社会
全体で見れば些細な事も、個人で見
れば大きな一歩になることが多々あります。個人の一步
を積み重ねることで社会の一歩になるので、その経験を
積み重ねていきたいです。よろしくお願いします。

会 計	石黒 公子(リモート 2021)
-----	------------------



今年度より参加しました。交流ネットの活動を理解しないまま、会計を担当させていただくことになりました。皆さまにはご迷惑をおかけしますが、学びながら覚えていきます。

どうぞよろしくお願いいたします。私は、男女とも生涯学び続ける（心身の学びも含め）ことが大切で男女共同参画社会に近づく一歩と信じています。

〔交流ネット通信編集グループ〕

今年度から通信の作成のための編集グループを作りました。編集委員は下記4名の他に山田さん、牧さんと森田です。初めての試みですので、財団はじめ多くの交流ネットメンバーのご協力をお願いいたします。（森田記）

A horizontal row of 15 small, five-pointed stars, each with a dotted line extending from its center to the right, creating a trail effect.



杉本 浩子 (Amelie'10)



交流ネット通信により多くの方々と繋がれるのは幸運な事！と自分を励ましながら参加します。またメンバーからの新しい刺激は、「人生 100 年時代、常に成長を」をモットーとする私の日常の支えとなるでしょう。



金森 叔英 (ベリーズ 18)

A woman with short dark hair, wearing a white collared shirt, is speaking. Overlaid on the right side of the image is Japanese text in a white sans-serif font. The text reads: 「交流ネット」・・・
何が交流し、つながっていく場
なのでしょう？
そのためには何が必要なのでしょう？
この通信と共に改めて考えてみようと思います。



間瀬 結子 (Reiwa'19)



「エンパシー」について考えています。心情に同調するシンパシーに対しエンパシーは他者の状況をくみ取ること。各々の場から声を上げてきた私たちだからこそ混沌の今を超克するすべとなると思います。



鈴木 清美 (みつ 2020)



2020 年度人材育成セミナー受
講修了生。2021 年度より交流ネ
ットに。財団の方々をはじめ、皆
さん良い方ばかりで感謝します。私自身、関わるなら
楽しみたいです。どうぞよろしくお願い致します。

展示～みんなで考える選択的夫婦別姓

2021年11月20日に『ウィルあいちフェスタ』で展示したパネルを今回1Fの情報ライブラリーにて今年5月19日から6月9日まで展示して頂きました。

『みんなで考える』に重きを置いて取りかかったパネル作成。まずはあいち別姓の会の弁護士二宮純子先生をお迎えしミニ学習会。別姓を実践した方のお話も聞きました。

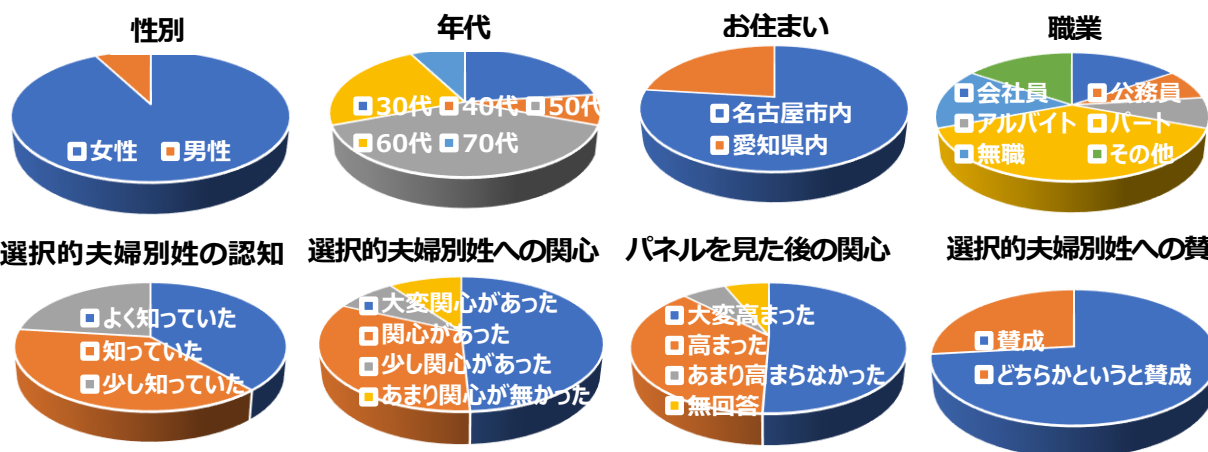
そして、一人ひとりの『姓』に対する思いをまとめ、それぞれのメリット・デメリットを整理。子どもには影響ないのかな？世界の国ではどうなの？ふつふつとわいてくる疑問に関して、一つずつ資料を探し作成しました。フェスタでの展示が終わって、さらに強く多くの方々と問題意識を共有することが重要！と思っていた私たちにとって本当に良い機会を頂きました。



情報ライブラリーでの展示の様子

(金森淑英・ベリース 18 記)

「みんなで考える選択的夫婦別姓」アンケート結果 回答：13名（森田登喜子集計）



《賛成のコメント》

- ☆ 人らしく生きる選択の自由として当然である
- ☆ 多様性社会でありどんな選択もできる世の中であって欲しい
- ☆ 自分の姓は産まれたときから一緒にの大事なもの
- ☆ 個人の生き方や生活に根ざす姓が法で決められるのは疑問
- ☆ 夫婦間で話し合っ女性も自由に姓を選べると良い
- ☆ 姓の変更には不便が多い。家族の絆とは何？幻想ではないか

《パネル展示の感想》

- ☆ もっといろんなところで展示して欲しい
- ☆ もう少し字が大きいと読みやすい
- ☆ わかりやすく問題点に気づけた
- ☆ 各国の選択状況の内容説明が欲しかった
- ☆ 「人に見てもらおう」意識が感じられない
- ☆ それぞれの思いや考えが伝わっていた

▼ウィルあいち交流ネット参加グループ

さわらび会 / メンズリブ名古屋 / 女性学'98の会 / グループキーツ / ウィル 2000 / I.W.L / ウィル Do 2002
サーティネット '05 / ベリース 18 / Step S07 / Fem.'09 / Amelie '10 / ひかるよ '15 / そだね! 2017
Hey Say Final / Reiwa '19 / みつ 2020 / リモート 2021

編集発行 ウィルあいち交流ネット

協力 (公財) あいち男女共同参画財団

2022年7月発行

ウィルあいち交流ネットとは：
ウィルあいちセミナー等の受講修生による
自主活動グループで組織された団体です。